

## 2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	福祉施設小委員会	主 査 名：巖 爽 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (施設計画運営委員会)	委員長名：大原 一興 主 査 名：広田 直行
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>【設置目的】地域コミュニティの継続を支える福祉施設のあり方に関する文献研究、事例研究および実践的環境づくり研究を行う。</p> <p>【具体的活動計画】</p> <p>2016 年度：見学会の開催 (事例収集)、公開研究会の開催 (福祉転用京都会議)</p> <p>2017 年度：見学会の開催 (事例収集)</p> <p>2018 年度：見学会の開催 (事例収集)、福祉施設を「住まい」として位置付けられてからの変遷を制度/空間の視点から時系列に整理し、成果物をまとめる。</p> <p>2019 年度：見学会の開催 (事例収集)、公開研究会「法制度整備及び空間環境の視点からみた福祉施設のこれまでとこれから」の開催</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：なし</p> <p>巖爽 (主査、宮城学院女子大)、松田雄二 (幹事、東大)、松原茂樹 (幹事、阪大)、橋弘志 (実践女子大)、石垣文 (広大)、加藤悠介 (金城学院大)、二井るり子 (二井清治建築研究所)、山田あすか (電機大)、森一彦 (大阪市立大)、藤田大輔 (福井工大)、谷本裕香子 (東洋大)、古賀誉章 (宇都宮大)、古賀政好 (竹中工務店)、神吉優美 (奈良県立大)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>福祉転用のためのデザイン手法 WG</p> <p>事例研究や検討会を通じて、地域から見た福祉転用の価値や意味、建物所有者との関係、計画理論のあり方、規制と安全性能のバランスなどを包括的に議論し、福祉転用の普及に向けたデザイン手法を広く発信・提言することを目的とする。</p>	
2017 年度予算	135,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有</p> <p>委員会 HP アドレス： <a href="https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/j-000/j200-12/j250-12.html">https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/j-000/j200-12/j250-12.html</a></p>

項 目	自己評価
委員会開催数	委員会 2 回、見学会+勉強会 1 回、福祉転用 WG 座談会 1 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	<p>1. 福祉施設見学会 (愛知県) 参加者数 15 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホーム 幸の郷</li> <li>・小規模多機能型居宅介護「笑楽日(わらび)」</li> <li>・グループホーム「もうやこ」</li> </ul>
大会研究集会	<p>1. 地域包括ケアとまちづくり～既存資源を活かした都市と建築の超高齢社会対応計画論～ (建築計画委員会・施設計画運営委員会)</p> <p>(資料名) 地域包括ケアとまちづくり～既存資源を活かした都市と建築の超高齢社会対応計画論～</p>
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	

<p><b>目標の達成度</b> (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>2017年度に予定している目標はほぼ達成しており、具体的な活動はいかに示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事例収集を目的とした見学会を2回開催した。(①8月31日 特別養護老人ホーム星の里、認定こども園さざなみの森。②12月16日(土) 地域密着型福祉施設見学会+勉強会@愛知県(特別養護老人ホーム 幸の郷、その他福祉施設)</li> <li>2. 福祉転用の手法に関する座談会を開催し、提言を行った。</li> <li>3. 福祉施設の空間/制度に関する時系列整理を引き続き行った。</li> </ol>
<p><b>委員会活動の問題点・課題</b></p>	<p>特になし</p>